

世間では中国武漢あたりで
発生したらしい新型コロナ
ウイルス感染大流行の兆し
ありつつ横浜に入港した大型
貨客船ダイヤモンドフリ
ンセス号の集団感染にビビ
りつつ行った塾レポート

卷之三

日、静岡県静岡市葵区葵科（わらし）にあるスープ「マム」12時集合の寺崎組野宿塾が開催されるわけだが、なんちやつてDRを積んだ軽トラをデポする都合で前日出発の前乗りすることに。アクアライン首都高保土ヶ谷バイバス東名大井松田ICを降り下道といういつもの静岡塾へ向けてのルートをたどる。次の日の塾集合地であるスーパー「マム」で買い出しする頃にはもう暗くなりつつあり、小雨も降っていた。いつもの謎の軽トラデポ地に向かう。謎のデポ地もものはや謎ではなくなり、本日の前乗りは二人。到着するとタープの下で宴もたけなわのロツカ一氏と涼風氏。ロツカ一氏は軽トラにX-LXを積んで長野県中信から来た。涼風氏は軽バンに謎のブラジル製スズキTF125を積んできた。今時珍しい2サイクル空冷リア2本サスの海外農業用一応オフロードバイクだ。岡崎の謎のバイク屋「石原うなぎ商店」で新車で買ったという。



メイトに集まる、27a, 27b 高橋氏とカズキ屋(山口)、山口

出る少々の落石等はあるか気持ちの良い走行が続く。今回の塾の中で一番走ったような気にさせてくれたルートではある。下泉笹間林道を下り笹間集落から峠を越えて国道362号線に出てスーパー「マム」に向かうつもりだったが、峠の手前に通り抜けできませんの表示あり。そこが越えられないドヒヤーッと大回りしなければならないので遅刻覚悟で峠に向かうが崖崩れの現場は何ヶ所かあつたもののどこも軽自動車が通れるぐらいの道幅は確保されており無事に国道に出られた。

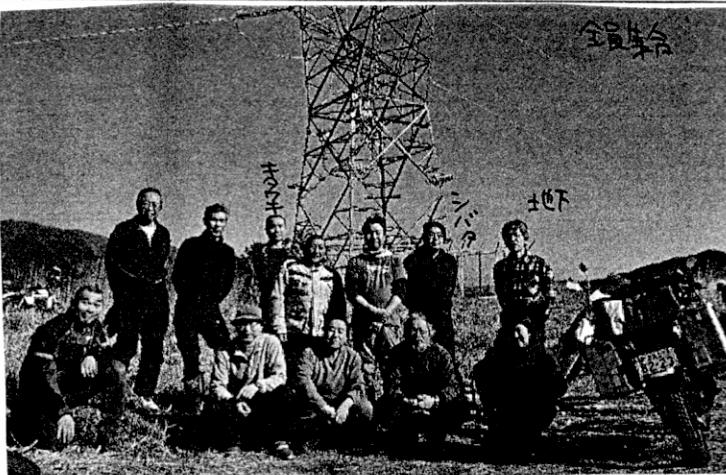
つになつたら通じるのであろうか。まあ通じたとしても奥大井のダム湖岸あたりだろうから一般車両を通してくる可能性は低いと思われる。次に向かつたのは国道362号線を突っ切つた向こうの無双連山林道だが林道入口で工事中通行止め。仕方なく国道を千頭に下り大井川左岸の青部から本城林道へ。峠は十字路になつており直進は文沢林道、左が無双連山林道だ。文沢林道を下り文沢笹間林道（仮）に折れて下泉笹間林道の峠に

才氏、ハーマツの自動車屋レイド村松岡氏、はるばる四日市から毎度ご苦労さん。の690LC4のカバ氏、もやは常連になつてしまつたCRF三蔵氏、ハーマツのガソリン屋トライアル大好きレイド山田氏、本当はテネレに乗りたいのにどこに連れて行かれるとかわからぬ塾のためレイドに乗るサンペイ氏。前回の宴会組会で組員になつたアウトライダーカメラマン

欠」サンペイ氏の言い訳によると「東名の風が強くていつもより燃費が大幅に落ちた」から。とりあえず全員無事に諸子沢峯林道に入り、何しろ13人だから早めにテント場を探さなければならぬ。13個のテントを張れる場所などそうあるものではない。狭い道を抜けると明るい尾根に出る。川久保林道に下つて、あつたと思った広場に行くが、そこから新設の林道が作られており、奥にも行つて見るが広場は見つからない。もう一本分岐

子沢峯林道に向かつて茶畠の中の急斜面に続く九十九折を快調に上つてゆくと、どうやら後続の3台ぐらいが来ていないので、はぐれてしまつたみたい。電波状態があまりよろしくないのだが携帯スマホGPSアプリその他を酷使し（私以外です）来ない人達の状況を把握。捜索隊の私と山田石油は、とりあえず県道まで戻る。はぐれた原因は何とタンク容量16リットルのレイドに乗るサンペイ氏のガソリンがリザーブになり諸子沢分岐手前にあつた雑貨屋経営小規模ガソリンスタンドで給油し分岐を通り過ぎて真っ直ぐ行つてしまつたため。

オ氏、ハーマツの自動車屋レイド村松岡氏、はるばる四日市から毎度ご苦労さんの690LC4のかば氏、もはや常連になつてしまつたCRF三蔵氏、ハーマツのガソリン屋トライアル大好きレイド山田氏、本当はテネレに乗りたいのにどこに連れて行かれるかわからぬ塾のためレイドに乗るサンペイ氏。前回の宴会組会で組員になつたアウトライダーカメラマン過積載TR柴田氏。そして久し振り寺崎組新聞HP管理人なんちやつてDRと（ちなみに組長のなんちやつてDRとはメークーがスズキである以外は共通ではない）京都からようおこしやすキタワキ氏と高速でキックペダルを落としてはいけないよXR650三浦2号氏。ちなみにもう一台のなんちやつてDRの三浦1号ゴ三浦氏は仕事の都合で明日の午後2時に大井川鉄道下泉駅近くのスープ「魚勇」で待ち合わせている。
という総勢13名見送り隊2名はスープ駐車場の外れでそれぞれ昼食をとり、午後1時きつかりに買い出して出発となる。出発していきなり村松岡氏が「ガソリン入れ忘れた」とことで田舎のガソリンスタンドを探している。ちなみにヤマハTTレイド



カバ 清風 村松周太川 0型 2号 三八式 炮兵 1挺 退儀載 TR

氣キ下かどつい
で通行禁止リターン。昨日来た道を
県道まで戻る。県道を突つ切り国道
362号線の杉尾に通じる舗装細道
へ。途中の沢で水汲み。周辺集落の簡
易水道水源にもなつてゐるので安心
な水だろう。国道に出て千頭に下る
わけだが、おつとその前に涼風氏「財
布をデポ地に忘れた」とのこととつい
でに予定通り智者山林道往復。謎の
デポ地には地下鉄サンバーが増えて
いた。国道362号線に戻り、昨日は
ロツカ一涼風私とで青部に折れたが、
本日は万世橋の手前から大札林道
へ。落石路肩崩落等で少し荒れでいる
が快調に高度を稼ぐ。残念なことに
樹木の成長で年々視界が悪くなる
が、眼下に大井川の広い河原と大井
川鉄道の鉄橋、その上を汽笛を鳴ら
してSLなんていう音と風景が見られ
たはずなんだが。途中の道路脇広場
で昼食、各自インスタントラーメンな
ど煮てズルズル、食パンにハムとチー
ズとカイワレなど挟んでもぐもぐ。食
後の一服する人もしない人もコーヒ
ーなど飲みつつ一息。

まつたく距離が稼げないのだ。という
わけで3時過ぎには無事に合流魚勇
買い出し出発となる。ここで三浦2号
が買った家や車や引っ越しや色々あつ
て忙しいので帰宅。しかしこの時期の
午後3時過ぎは夕暮れ間近。下泉笹
間林道から文沢林道を通つてと
ルートは諦めた。本日のキャンプ地は
誰ともなく軽トラデポ地と決めてい
る。国道をただ戻るのも面白くない
ので大井川の対岸を通る県道77号
線で千頭へ。この県道がまた捨てられ
た道というかほとんど通る車もなく、
分岐がわかりにくく舗装はされてい
るが整備されている様子はなくなか
なかツーな道だ。というわけでデポ
地キャンプ地に無事到着。そしていつ
もの宴会に突入。この時は、次のゴー
ルデンウイークコンバットキャンプ場
宴会がコロナ禍で中止の事態に陥る
とは誰も思いもしなかつたのである。



言
經
長

御荷鉾林道！

187回組会報告

新型コロナウイルス渦の中、開催の是非も問われましたが緊急事態宣言は解除され、マスク着用やおつまみは取り箸を付けて回すなど対策をすれば良いのではないかということと、無事開催に至りました。合言葉はソーシャルディスタンス！「ホールデンウイーク」の宴会が緊急事態宣言発令中となり、公式には中止。（非公式で開催されていたようですが）長い歴史ある

ヨロナ <ル

by 組長

今度の
マンガは
おもしろいよ

→組長が
考へるといよ
→の関係で
いたなく描かれた
んだ?

まだ梅雨も明け切らぬ7月中旬、週間天気予報に日々一喜一憂しながら開催当日。今回は群馬の鬼石。私は超絶近所であります。集合場所のスイパー、フレッセイまでは30分もあれば行ける距離。夜勤明け家に帰つて荷物を括り付け11時過ぎ出発。ゴ三浦さんはもう到着しているらしい。天気は持つている。曇つてゐるが雨は降つていない。今回の参加者は組長、ゴ三浦さん、アベさん、オガタさん、地下鉄さん、三瓶さん、半蔵の7名。フレッセイに着くと組長(SP370)、ゴ三浦さん(XLR80)、アベさん(KLX125)が既に到着。その後オガタさん(ジェベル)、お見送りに松本ナンバーの白いジムニーでひらりんさんとはやと君親子が登場。差し入れありがとうございました。それから三瓶さん(Raid)が来て、ん?地下鉄さん来ない。何やらマシントラブル。WR250がアイドリングしなくなつてしまつたらしい。大丈夫だろうか?:程なくして地下鉄さん到着。フレッセイの片隅でトラブル箇所のチ

新型コロナウイルス渦の中、開催の是非も問われましたが緊急事態宣言は解除され、マスク着用やおつまみは取り箸を付けて回すなど対策をすれば良いのではないかといふことで、無事開催に至りました。合言葉はソーシャルディスタンス！ ゴールデンウィークの宴会が緊急事態宣言発令中とあり、公式には中止。（非公式で開催されていましたが）長い歴史ある寺崎組もウイルスにより中止を余儀なくされるとは…。生きていると何が起るかわかりませんね。

エツク。シートを外したらボツボツ雨が降り始める。そして本降りに。：。エンジンは掛かるので何とか行けるだろうと、買い出しをしていざ山へ。ひらりんさん、はやと君、行つてきまーす！



舗装は大きく割れてめくれ上がり』『
れ行けるの?』と、思わざるを得ない
い。と、前を走っていた三瓶さんがズ
ルリ!えー。こんなに行けるわけない
やん。ムリですやん!私の後ろの守
り神、ゴ三浦さんが『このラインで
と、通りやすそうな場所を教えてく
れる。この登りだし、アクセル開けて
かないと超えれない!ええい!行つた
れ!あ、行けたいた!そしてそのまま
ま右力一ブ。先はもう道つて言えない
んじやない?つくてくらいガレてた。
ああ・・気が抜けてアクセル緩んでバ
ランス崩れる。踏ん張るが耐えきれ
ず1コケ。今回のために交換した新品
のクラッチレバーぐにやりと曲がる。
さつきのとこ降るんですね。はいわか
りました!怖いよー(泣)。Jターナー
ンするのも一苦労。皆さんいつもすみ
ません。ありがとうございます。無事
スリーリングな道を下り、この後は本日
の野宿地へ向かうようです。



リジストンのE50というトゲトゲの
タイヤ。『三浦さん』に「そのタイヤは
公道ダメでしょ!」と言われちゃう
ど立派に公道可です!(すごい走りに
くいけど...)そんなタイヤで歩いて
もツルツルといつちやうような道を...
慎重に慎重を重ねてやつてきた林道
脇の広場。広くて明るく開けててナイ
ス広場!しかしよく見ると足元ぐら
ゆりとするワカメ(みたいなもの)が
びつちり。山なのにちょっと海の匂い
がする!場所を選んで本日の宿を設
営。雨の中庭仕様で宴会が始まりま
すよー!

宴会はまだ明るいうちからアベ
んの『酔っ払った』宣言。久々の駅名呼
び、バスのお客さん『しきうちやん』が
実は『しきうちやん』だったと言う衝撃
の事実。松山千春にオフコースの熱唱

たのに、山へ上がつて行くにつれ涼しくなってきた。本日のお宿は、昨年西で連泊したあの場所。私は1泊しただけでしたが、あれから1年か。用えばそこから始まり、年末の宴会はフライング参加で本番前に帰ったはど、塾は皆勤賞です！私の聖地に凱旋してきた訳ですが、到着して組長達が何やらざわついている。なんと人糞があると言う。私の聖地に！人糞は後程盛り土がされ崇め奉られました。早速今夜の宴会準備。

解禁は16時を過ぎていた。ここでお買い物に行くときには三浦さんが転倒したと聞く。腕はズルムケ痛々しい。お昼に飲んだのかどうかは・？？組長の太腿ズルムケとの品評会になりました。山の天気は変わりやすいいと言いますが、これほど変化に富んでしまったのです。今日は

来た道を引き返し、また御荷鉾ス
一パ一林道に戻る。県道に出て藤岡
市日野の方から街へ降りる。途中泥
だらけのヤマハのオフロードバイクを
載せた軽トラ。近くに『日野オフロー
ドカントリー』というコースがある。
下界に降りると暑い！アイスが食べ
たい！ベルクに着いたのは14時過ぎ。
駐輪場にバイクを止め、食材と一緒に
アイスを買う。アイスを食べていい
ると私たちの物々しいバイクを眺め
ていたおじさんが組長のバイクを指
し「あれハスラー？ハスラーだよね？
と、話しかけられる。さあ？と、首
を傾げてその場を静かに離れる。ハス
ラー親父の登場である。組長も話一
かけられていたようだ。さて、お買
い物を済ませた寺崎組一行はまたさつ
きの県道で山の中へ。あんなに暑かつ

ボ地です。ここでどうとう地下鉄さんのWRが力尽きました。でも3日間よく走ってくれましたね。組長のバイクと一緒に軽トラに積まれたWRお疲れ様ー！また元気になりますように！その他自走組は半蔵先導の元、御荷鉢スープー林道の始点へ。再びR462に戻りました。途中で追いついた組長と地下鉄さんの軽トラにお別れ、鬼石のセブンイレブンで小休止。そしてそれぞれの帰路に着きました。雨の中走ったのは1日目だけ。あとはよく晴れてコロナ渦であることを忘れちやうくらい楽しい組会でした。今回私は1コケ！私の所感であり、記憶も曖昧、長くなってしまいましてが、以上で鬼石組会の報告を終わります。

「政治小説の第一回は、日本古事記の櫻井出雲の傳説を元にした

2日目 晴れた！愛宕山林道のさ
場を後にし、御荷鉾スープー林道(木
で登ります。白いドラム缶が目印、ま
御荷鉾林道へ。柵はしてありますが、
するりと抜け入し下つて行きま
す。道幅もあり、走りやすいフラン
な道。だけど、長年通り抜けられな
ようです。斜面が崩れて道を完全に
塞いでいる。Jターンです。ここで地
下鉄さんのWRエンジンがかからな
い。バッテリージャンクといふこと
で、オガタさんのジエベルのバッテリ
ーと交換してみる。掛かった！形の合
わないバッテリーを結束バンドで固定
泥除けにビニールで保護して即席サ
道バイク修理完了。でも予断は許さ
れないよう。様子を見に戻ってきてく
れたアベさん、入り口で待っていてく
れた組長、三瓶さんと合流し、次の
林道へ。お次は名無村（なむら）と読
む）林道。ちょっとミステリアスな前
前。下り始めは中々素敵な林道。下

つまみケルケル始まります。三瓶さくはのイワシの梅煮は絶品！毎回何を食べさせて貰えるのかとつても楽しみであります。と、ここでオガタさんまだ暗くならないうちにテントへ。寝るにはまだ早いぞー！暗くなりまた雨が降ります。ぱらぱら降ったり止んだり。お酒も進み、「酔つ払つた」宣言がないままアベさんモード突入。半蔵の身の上相談（ここに書くには長すぎる）から、旅のススメを熱く語つていただきました。私も久々に日本酒が進み、酔いが回る。組長が日本酒はダメと言つていたのを思い出す。私もダメみたいですね。そんな頃オガタさん復活！アベさんとオガタさん土砂降りの中で熱く語り合うのを置いて皆それぞれでソトに潜り込むのでした。

3日目 晴れ！朝食を済ませて出付け。御荷鉢スープ林道を東へ。西御荷鉢山登山口前の広場。組長の

お度巴留や云々かとま入、長亂けは思た開し

監視カメラに注意せよ！

188回組会報告

九月十九日(土)曇り 一日目
二時 福島県いわき市いわき勿来
ンターフ出^ル到着。組長(DR)、白

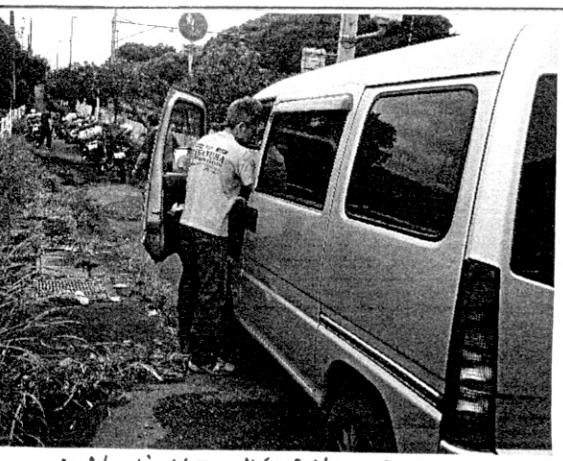
にツツコむ。「これ以降、「しどき」は「よじ」と呼ばれる事になる。出発間際、ゴ三浦さんが買い出しのスーパーを組長に尋ねる。組長は「さつきマルトに行つたから、ヨークベニマルかな。」と言つたらすかさずゴ三浦さん「いわきと言つたらマルトでしよう。」と返し、組長、ゴ三浦さんに負けマルトに決定。今回は計八名で塾開始となる。

十三時。地下鉄さんに見送られて買い出しに出発。国道二百八十九号

線を東進し、県道十号線との交差点を右折して南下。左側にある「スーパーマルト窪田店」に到着。コロナ対策として全員マスク着用で店内へ。各々、温かいおもてなしを受けました。パリピ

いもん」と地下鉄さんを思いやる
十四時前、元来た道を戻る。国道二
百八十九号線沿いの「ENEOS勿来イ

「ンタ一店」で給油し、西進。四時大橋を渡つて左折し橋の下で右折。川部中学校の角を左折し橋を渡つて右折、道なりに進むと太い道を右折、道なりに進み蛭田川沿いの道へ右折する。800m進むとダートになり「日兼横川林道」に入る。フラットダートを400m進み左折し本線へ入る。林業が盛んで搬出用トラックが行き交うので道なり縦に走る溝、道を横切る溝が深くなってきた。4.6km走つた所、峠付近で合羽休憩。組長と柴田さん、お揃いのモンベルの合羽だ。合羽に着替えて峠を下る。突然前から何かが飛んできた。三瓶さんのゴーグルだ。後ろの柴田さんが拾つて三瓶さんに渡す。7.2km付近、突如ガレ場出現。岩ゴロゴロをクリアして後続を待つ。全員無事クリアして次のセクションへ。まさかの組長が溝に嵌る。駆け寄つてお手伝いをする。その後全員無事クリアして山を下ると道の真ん中に謎のおじさんが、道を横切る山水で釣つた魚を洗つているところに遭遇（洗濯していると思った組員もいた）。避ける気配がないので脇を通り抜けた。7.6km走つたところで右折し、仏具山林道に入る。雨は上がる。上



WRがまた直づかの地下が集合場所にお見送りに来た。

なり縦に走る溝、道を横切る溝が深くなってきた。4・6km走った所、峠付近で合羽休憩。組長と柴田さん、お揃いのモンベルの合羽だ。合羽に着替えて峠を下る。突然前から何かが飛んできた。三瓶さんのゴーグルだ。後ろの柴田さんが拾つて三瓶さんに渡す。7・2km付近、突如ガレ場出現。岩ゴロゴロをクリアして後続を待つ。全員無事クリアして次のセクションへ。まさかの組長が溝に嵌る。駆け寄つてお手伝いをする。その後全員無事クリアして山を下ると道の真ん中に謎のおじさんが、道を横切る山水で釣つた魚を洗つているところに遭遇（洗濯していると思った組員もいた）。避ける気配がないので脇を通り抜け。7・6km走つたところで右折し、仏具山林道に入る。雨は上がる。上

つてくれる、いい人だ。柴田さんはダメイエットの為、酒を断つたらしく止められた際持っている酒をシンクに流したそうだ。それを聞いたゴ三浦さん「もつたいない。シンクにホース付けて直接飲みたい。」と残念がった。禁酒効果で体重も五キロ減ったそうだ。柴田さんと面識が無かつた組員が複数いたので組長が紹介。「彼はプロの力メラマンで自分と同じ北海道出身です。」すかさずゴ三浦さん「柴田さんは都会で組長はザイですよね。」と。すかさず組長「美幌より足寄の方がザイだ。」と返す。暗くなり始める頃、雨が降り出しタープの奥へ密にならないよう詰める。三瓶さんは今日も凝った料理を作る。ゴ三浦さん「組会毎に料理の腕上がっているよね。」と褒める。家でも作っていて子供には

九月二十日(日)曇り 二日目
明け方頃、強風で山の木々が揺れる
音で目が覚める。五時前、外で誰かが
動いている。まだ、暗くヘッドライトの
光が透けてテント内に入り込む。気に
なつて外に出てみると組長が朝食の
準備をしている。仕事の関係で朝四
時には起きてしまうらしい。「米が炊
けるまで朝日を見よう。」と展望台
(見晴台?)に一緒に向かう。海の上
には雲が掛かり隙間から光が漏れ出
ている。軽い朝焼けになつて幻想的
だ。「最近、朝焼けを多く見るんだ
な」と組長が呟く。暫し朝日を眺め
る。六時を過ぎると次々と組員が起

りタイヤがとられる。峠を越えると
ちよいガレ林道になる。3・1 km走り
四時川林道との丁字路を左折、こち
らもちよいガレ林道。年中木々で陽
射しが遮られて山水もあちこちから
出しているため、水溜まりが多数ある。
1・6 km地点で昼食用水を確保のため
停車。半蔵さんのバイクのスタンド
を掛けた位置が柔らかく、危なく崖
下へ落ちそうになる。滝のような所から
水を汲もうと容器をかざすがなかなか
なか入らず両腕がびしょびしょにな
る。ちよい先に簡単に汲める場所があ
つたのに。再び西進。2・2 km地点で
土砂崩れの為、停車。組長と偵察。人
が越えた形跡はあるがバイクが越
った形跡はなく、反対側に車の轍もな
いのでこの先は通れないと判断を下
し戻る事にする。来た道を戻り、先

近でヒターン。目指す林道の入口を過ぎてしまつたらしい。東陽寺付近で右折し橋を渡り田んぼ中を通り左に右折、右折して本来のルートへ戻る。入遠野浄水場の脇を過ぎて急勾配九十九折の道を上る。上り切ったところに林道西根線入口があり、そこで休憩となる。時刻は十時半、本日00km越えとなる。見晴らしが良いで向かいの山には広大な太陽パネ群が広がっている（四年前はなかた）。FM佐藤さんに「冬でもこの使うの？」と聞かれる。「生活道路だから多分使うと思います。」とは言ふが雪が降つたら登れる道ではなく、急勾配。真相は不明です。中「素人の手打ち蕎麦」の看板があれみんなで不思議がる。そうこうして



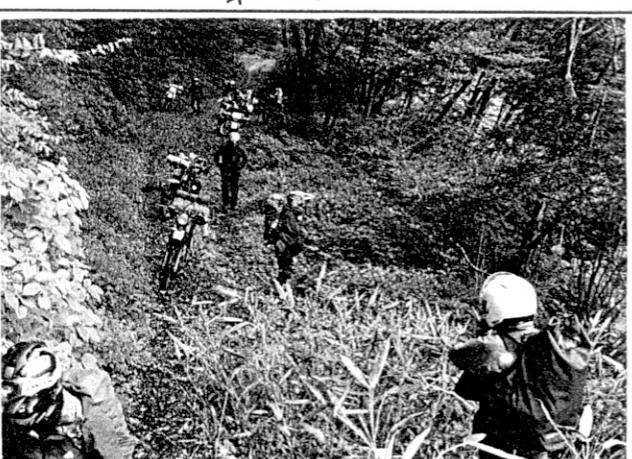
モヤフ地は仙山頂上直下

好評だが奥様には不評らしい。福島県の組会では毎回出る「浜通り、中通り、山通り」にゴ三浦さんの反論タイム。十八時半、組長、柴田さん就寝。今日は地下鉄さんが不在なので三瓶さんの音楽の独壇場。スピーカーから流れるのは「みゆきさん」オンリーではない。組会で「みゆきさん」が聞けないのは非常にレアな出来事。松山千春・アリスの曲が掛かっても静かなのもアベさんも不在だからだ。そんな二人の不在をカバーしようとゴ三浦さんが熱唱するが、アベさんの声量にはほど遠く。歌の合間の芸能ネタで何故か詳しく話し込む。ゴ三浦さん「今日のオガタさんは絶好調だね。」と一言。命名「オガタ屋」の誕生です。夜も更けると気温が下がり一枚服を羽織る。半蔵さんが作った汁物で体が温まる。が、ゴ三浦さんは短パンのまま。会津出身の人は寒さに強いのか。二十二時を過ぎるとオガタさんに異変が。「お地蔵さん」タイムに突入。すかさず半蔵さんが写真に撮り「LINEで拡散（朝、組長がちゃんとチエックしていた）。二十三時前、富会を終了し各自テントへ。



午時頃、廿四時川本道へ向ひ

る間にポツリポツリと雨が降つて来る。携帯で雨雲レーダーを確認、この後暫く雨が続きそうなので合羽を着ることにする。ゴ三浦さん、合羽を着し。が、組長が合羽を着始めると仕事なく合羽を取り出しにかかる。出直前、軽トラックが三匹の犬を連れ林道入口のウマをどけて入つて行く。どうやら散歩しに入つたようだ。出間を開けて林道に突入する。締まつた路面で走りやすいたが、水切り用溝が深く衝撃が激しい。2.2km地点でさつきの軽トラとそれ違う。さらに奥に進む。四年前の野宿地の横を走り抜けると次第に道に草が生い茂り悪路化してくる。5.6km地点で組長が完全に崩落している。人時半林道脇スペースで昼食タイムが進む。昼食準備を尻目にFM佐藤さんがここでお別れとなる。FM佐藤さんが去った後組長が「佐藤君は前のバイクの時は遅かつたけど、ジエベルに乗り換えた途端すごく早くなつて驚いた。」とFM佐藤さんの逸話を話す。(編集者注:前のRaidは走行距離が延びていたので、単にバイクを気遣



4:00川林道土砂崩れ引返し地点

停まつており避ける気配がないので

3km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

停まつおり避ける気配がないので

3km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。2.

km地点で軽自動車が道の真ん中に

入り遠野小学校の交差点を左折して

福寺を過ぎて右折して硯石林道を目

つてゆつくり走つただけです。)昼

食を終え十二時半、この先も雨が降

ると予想して合羽着用のまま来た道

を戻る。急勾配の十九折の道を下

り、トライックが行き交うので道が踏み固

められていて比較的走りやすい。